

小美玉 市議会 だより

～ 市民の負託に応えうる
開かれた議論に基づく
公平公正な議会を目指して～



2017.1.26 第44号

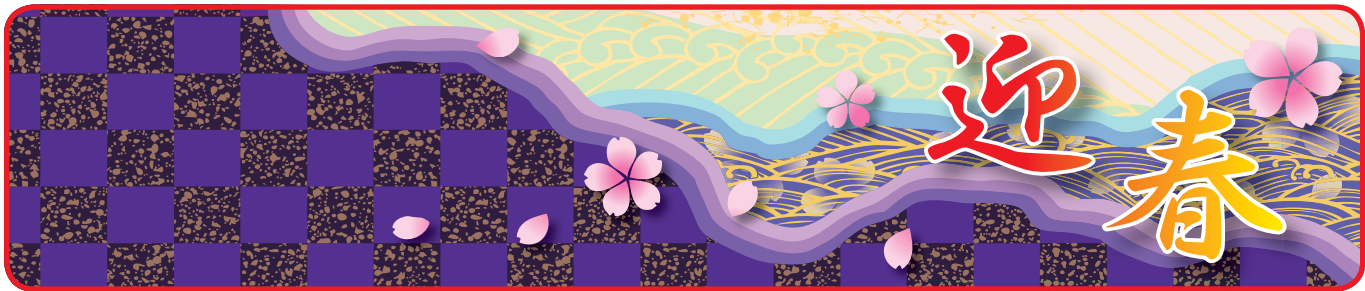


第10回 小美玉市子ども議会を開催

(12月26日、本庁舎3階議場にて)
※ 質問内容等は、2月発行の市報に掲載されます。

目次

- 新年のあいさつ、第2回臨時会 P2～
- 第4回定例会 議案審議結果 P4～
- 常任委員会 Q&A P6～
- 討論、質疑 P8～
- 視察報告、一般質問 P9～
- プレゼンツィブ、市民の声ほか P15
- 議長通信、次定例会の予定 P16



議長 市村 文男



副議長 藤井 敏生

明けまして、おめでとうございます。
平成29年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月には、熊本地震が発生しました。小美玉市の対応として、7月に2週間職員を益城町に派遣し被災支援を行ってきていただきました。無事に支援業務を終えられたこと、厚く御礼申し上げます。その後、鳥取や茨城北部での震度もなど、日本列島での各地の災害は、絶えずどこかで発生している状況であります。いつ何が起ころうとも不思議ではありません。日頃から災害に備えて参りましょう。また、日本政府の今後の経済財政運営でございますが、引き続き、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、名目GDP600兆円経済の実現と平成32年度（2020年度）の財政健全化目標の達成の双方の実現を目指すもの、としております。

そして、一億総活躍社会の実現に向け、アベノミクス「新・三本の矢」に沿った施策を実施し、「戦後最大の名目GDP600兆円」に向けては、地方創生、国土強靱化、女性の活躍も含め、あらゆる

政策を総動員することにより、デフレ脱却を確かなものとしつつ、経済の好循環をより確かなものとする。としておりますが、人口減少対策や同時に高齢化社会への対策が非常に大きな問題であります。特に小美玉市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であるダイヤモンドシティブロジェクトが、人口減少対策や小美玉市全体の経済活動に波及するキーポイントであると考えております。市議会といたしましても、そういった国や市の対策につきましても、最大限協力して参りたいと思っております。そして、市民に信頼される議会運営に努めて参りますので、より一層のご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、市民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしましたして、新年のあいさつといたします。



「明けまして おめでとうございます」

(議席順)

野村武勝 荒川一秀 市村文男 戸田見成 大和田智弘 笹目雄一 関口輝門 大槻良明 小川賢治 藤井敏生 福島ヤヨヒ 岩本好夫 長島幸男 谷仲和雄 幡谷好文 石井好旭 植木弘子 木村喜一 鈴木俊樹 村田春樹

平成28年第2回臨時会

◆ 新たに「地域医療対策特別委員会」を設置！

10月20日、第2回臨時会が開かれ、市長提出 議案 85号 一般会計補正予算（4号）を原案可決のほか、議員発議3号により新たに「地域医療対策特別委員会」が設置されました。

■ 地域医療対策特別委員会

【目的】 地域医療の一翼を担う「小美玉市医療センター」の今後のあり方等について調査研究及び提言を議会の立場から行うため設置する。

【構成】 委員長）藤井敏生、副委員長）谷仲和雄、
荒川一秀、戸田見成、大和田智弘、
笹目雄一、岩本好夫、長島幸男、
幡谷好文

【これまでの経過】

小美玉市医療センター（平成19年度までは、小美玉市国保中央病院）は、経営の抜本的改革（指定管理者制度の導入）により、平成20年度からは公設民営の形態となっています。

これまでの指定管理者は、医療法人 幕内会（石岡市、指定期間：平成20年4月～25年3月）、医療法人財団 古宿会（水戸市、指定期間：平成25年4月～35年3月）となっています。



小美玉市医療センター

第2回臨時会審議結果等一覧（全2件）

【全会一致の議案等】

■平成28年度 補正予算（1件）

85 一般会計（第4号） 可決 [補正額] △2,411万3千円、[補正後額] 23億9,830万2千円

■発議（1件）

3 地域医療対策特別委員会の設置 可決 提出者：笹目雄一 賛成者：野村武勝ほか5名

平成28年第4回定例会

◆ 議会人事

■ 正副議長（11月30日付） ※ 正副議長、辞職による選挙
議長）市村文男、 副議長）藤井敏生

■ 産業建設常任委員会（12月14日付） ※ 正副委員長、辞職による選挙

【構成】 委員長）戸田見成、副委員長）石井 旭
野村武勝、大槻良明、藤井敏生、福島ヤヨヒ

■ 議会運営委員会（12月20日付） ※ 全委員、辞職による選挙

【構成】 委員長）笹目雄一、副委員長）小川賢治
戸田見成、大和田智弘、岩本好夫、幡谷好文、委員外委員）藤井敏生

【全会一致の議案等】

■ 条例の改正（2件）

86	小美玉市職員の給与に関する条例等（一部）	可決	平成28年8月の人事院の給与勧告に準拠し、関係条例の整備を行うもの
88	小美玉市立学校設置条例（一部）	可決	小川南中学校を移転すること並びに小川小学校及び橘小学校を廃止し、小川南小学校を設置することに伴い、その位置及び名称を定めるため、所要の改正を行うもの

■ 平成28年度 補正予算（10件）

89	一般会計（5号）	可決	[補正額] 3億7,990万円 [補正後額] 238億7,820万2千円
106	一般会計（6号）[追加]	可決	[補正額] 1億755万4千円 [補正後] 239億8,575万6千円 [事業勘定] [補正額] 38万円
90	国民健康保険	可決	[補正後額] 70億1,007万5千円 [診療施設勘定] [補正額] 272万6千円 [補正後額] 1億5,336万1千円
91	後期高齢者医療保険	可決	[補正額] 22万7千円 [補正後額] 4億5,001万8千円
92	下水道事業	可決	[補正額] 51万5千円 [補正後額] 16億1,487万3千円
93	農業集落排水事業	可決	[補正額] 38万7千円 [補正後額] 7億4,444万1千円
94	戸別浄化槽事業	可決	[補正額] 4万6千円 [補正後額] 8,182万2千円
95	霊園事業	可決	[補正額] 59万5千円 [補正後額] 3,997万5千円
96	介護保険	可決	[介護保険事業勘定] △83万5千円 [補正後額] 35億4,852万9千円
97	水道事業	可決	[収益的支出] [補正額] 43万9千円 [補正後額] 7億9,015万円

■ その他（9件）

98	字の区域の変更	可決	土地改良事業の換地処分に伴い、字区域の一部を変更する必要があるため
99	工事請負契約の変更契約の締結	可決	「小美玉市役所本庁舎 耐震補強工事」施工に伴い、アスベスト撤去・改修工事のほか、耐震補強箇所の一部追加、外壁等老朽化箇所の改修及び防水工事等の変更・追加工事が発生したため、契約の変更を行うもの
100	工事請負契約の変更契約の締結	可決	「平成28年度防災行政無線放送施設整備工事」施工に伴い、屋外拡声子局の追加及び移設工事等が発生したため、契約の変更を行うもの
101	工事請負契約の変更契約の締結	可決	「旧小川高校改修工事」施工に伴い、校舎及び体育館の外壁、鋼板屋根等の追加工事が発生したため、契約の変更を行うもの
102	工事委託契約の締結	可決	市道小10916号線
103	財産の取得	可決	市道小10916号線の道路整備事業用地として、三箇地内の土地を取得 開発行為による宅地造成に伴うもの（2路線）
104	市道路線の認定	可決	・市道美1637号線（羽鳥地区） ・市道美1638号線（部室地区）
105	市道路線の廃止	可決	市道小10706号線（中延地区）を廃止
107	指定管理者の指定 [追加]	可決	玉里運動公園施設の管理運営業務を指定管理者に移行

※法人実効税率とは？・・・法人所得に対する租税負担の一部が損金算入されることを調整した上で、国税の税率と地方税の税率を合計したものである。

委員会審査Q&A

各委員会に付託された21議案等を審査

本会議で付託された21件の議案等について、12日から14日にかけて行った各常任委員会で審査しました。各常任委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

(委員) 田島 川口 木田
大長 荒関 鈴木

市税条例の一部改正

Q 今回の主な改正点は？

A 法人市民税の法人税割の税率がこれまでの12・1%から8・4%に変更となる。

また、固定資産税の軽減対象として、新たに7項目が追加される。

Q 法人税割の税率が下がると、どれくらいの影響があるのか？

A 平成27年度ベースで試算すると、1億3000万円程度が減額となる。

【二〇×七】

■国で進めている法人税改革とは？・・・日本の立地競争力や、我が国企業の競争力を高めるためには、法人実効税率を国際的に遜色ない水準に

引き下げることが必要なので、「課税

ベースを拡大しつつ税率を引き下げる」という方針の下で法人税改革が進められている。これにより、法人課税をより広く負担を分かち合う構造へと改革し、「稼ぐ力」のある企業等の税負担を軽減することで、企業に対して前向きな投資や、継続的・積極的な賃上げが可能な体質への転換を促すこととされている。

一般会計補正

Q 地方債償還利子が4353万6000円補正減額されているが、その理由は？

A 平成27年度の借入利率が低利率であったことや、繰越事業が生じたこと、そのほか平成27年度借入分事業費の確定により借入額が少なくなったことにより償還利子に不用額が生じたから。

Q ※地方債の借入先はどのように決めているのか？

A 入札により決定している。

Q 負担軽減のための金融機関等への借り換え交渉はなされているのか？

A 高利率のものについては、借り換えができるか調査している。

文教福祉

(委員) 本仲 日川 谷木 村
岩谷 笹小 幡植 木

軽度生活援助事業委託料について

Q 軽度生活援助事業の内容は？

A 概ね65歳以上の一人暮らしの方または高齢者のみ世帯の方で作業が困難な方を対象とした事業で、家事援助型と屋外作業型の2種類がある。

Q どのような生活支援が多いのか？

A 大部分の方が生垣の剪定等の屋外作業型を利用している。

Q 利用者数は？

A 平成27年度は348名の方が利用している。今年度は一ヶ月当り約40名前後の方が利用しており、高齢化に伴い年々増えている状況となっ

ている。

子連れに優しい店舗推奨助成金

Q 助成の目的は？

A 市内の店舗等の駐車スペースにマタニティマークなどを設置するための助成費用。

Q 今回の補正内容は？

A 当初予算では補助限度額が3万円、5箇所を想定していたが、さらに事業効果を高めるため、補助限度額を5万円、実施箇所も10件とするもの。

Q 実績はどうか？

A 広報紙や市のホームページ等で案内しているが、現在はまだ申請がない。

○ PRをしっかりしてほしい。



マタニティマーク



旧小川高校のセミナーハウス（写真左）

てお
くた
め分
離し
てお
く。

Q 旧小川高校内のセミナーハウスの上水道の管理を、学校と分離する理由は？

A 今のところ学校施設として活用する用途がないため、今後の跡地利用計画で利用する際の環境を整え

社会福祉協議会補助金補正

Q 補助金の具体的な内容は？

A 法人運営人件費の確定に伴う年間の人件費となるもの。

Q 昨年度と比べて350万円の差額があるが、どうしてか？

A 社会福祉協議会法人運営に係る職員の異動等により増額となった。

産業建設

(委員) 田井村 槻井 島
戸石野 大藤 福

園芸リサイクル負担金

Q 負担金の内容は？

A 主にビニールハウス等の塩化ビニールフィルムやポリエチレン製品を処分するため、茨城県農林振興公社園芸リサイクルセンターに対して、排出した重量に応じて小美玉市が負担するもの。

Q 今年度増額になった理由は？

A 輸出が大幅に減り取引価格が暴落したことから、処分単価が引き上げられているのが理由。

**石岡小美玉スマートICアクセス
ス道路工事委託契約**

Q 石岡小美玉スマートICアクセス道路において締結するの委託契約の内容は？

A アクセス道路については、当初1億450万円で契約していたが、早期完成を目指し、国県に要望活動を行ったことにより国庫補助金の追加交付が決定された。それに伴い、三箇・中延地内の地盤改良工事・舗装工事等の道路改良工事一式を増額

し契約するもの。



産業建設常任委員会で現地視察を実施（三箇地内）

市道路線の廃止

Q 用途廃止申請に伴い、市道路線を廃止し用地を売却する場合の単価の算出基準は？

A 基本的には1㎡あたり宅地で8600円、その他で3200円が小美玉市の統一単価であり、それを軸に検討する。



12月定例会日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
12月 30日	本会議（開会、議案上程）	2名
12月 6日	本会議（一般質問）	4名
7日	本会議（一般質問）	4名
8日	本会議（一般質問、質疑、討論、委員会付託）	8名
12月 12日	総務常任委員会	3名
13日	文教福祉常任委員会 地方創生まちづくり特別委員会	—
14日	産業建設常任委員会	—
15日	地域創生まちづくり特別委員会 議会改革推進特別委員会	—
16日	地域医療対策特別委員会	—
19日	広報特別委員会	—
20日	議会運営委員会 全員協議会 本会議（討論、採決、閉会）	1名

12月定例会の討論（4件）

■討論

●反対：（請願87号 「小美玉市税条例の一部を改正する条例」福島議員）

改正により本市の市税（法人税）は約1億3000万円程度の減収が見込まれるが、これが労働者、従業員の給料の引上げに必ずつながるとは到底思えない。その補てんは、国レベルではいずれ消費税の値上げにつながると思われる。よって、国が決めたこととはいえ、反対。

●賛成：（請願3号 「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願書」、「請願4号 「高額療養費」、「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願」福島議員）

窓口負担の値上げ案は、高齢者の生活を苦しめる。このような現状から、市民の不安を少しでも軽くするため、国に対して意見書を出し、市民の声に応えることが私たち議員の役割だと思い、この請願に賛成。

●賛成：（陳情1号、陳情第1号 市民の憩いの場「白雲荘」の存続を求める陳情書」福島議員）

震災復興特別交付金は、人口5万人以上、面積400km²を果たせば交付される。老朽化した茨城美野里環境組合のみ改築すればよく、あわてて広域化することない。それぞれの自治体がごみ減量化を図れば、コンパクトな処理場建設で済み、市の負担も少なくなり、高齢者の憩いの場「白雲荘」を存続させることができるので、この陳情に賛成。

12月定例会の

議案に対する主な質疑（2件）

■質疑

●議案89号 「小美玉市一般会計補正予算（第5号）」、（小川議員）

広域幹線道路整備委託料について

Q 広域幹線道路整備委託料、3億円を増額補正の理由は？

A 市道10916号線、いわゆる石岡小美玉スマートICアクセス道路整備事業に関するもので、地権者のご協力により現在までに工事実施可能な一定区間の用地買収完了しており、できるだけ前倒しして工事が出来るよう国に要望した結果、国の予算がついたことから補正をお願いするもの。



石岡小美玉スマートICアクセス道路整備を開始（竹原地内）

●議案89号 「一般会計補正予算」（福島議員）

市税条例の一部を改正する条例について

Q 市税の歳入は減少傾向にある中、なぜ法人税が引き下げられるのか？

A 都市部に集中する傾向にある法人税の税率を引き下げ、その減税相当分を国税分に上乘せし、地方交付税の財源として再配分をするため。

Q 固定資産税の軽減としてのわがまち特例（地域決定型地方税制特例措置）適用の内容は？

A 従来全国一律で定められた地方税の軽減部分について、国で定めた範囲内で各市町村が実情に応じて条例で定めることが出来る制度。現在は、固定資産税の償却資産の軽減のみに導入されている制度で、適用できるのは再生可能エネルギー等の設備のほか、公害防止用設備や新築のサービスに付き高齢者向け賃貸住宅などの20項目のみ。

◆視察日：5月24日～25日

◆委員：野村武勝、市村文男、

戸田見成、笹目雄一、関口輝門、
藤井敏生、福島ヤヨヒ、長島幸雄、
石井 旭、植木弘子、鈴木俊一、
村田春樹

◆視察先・内容：①神戸空港（神

戸市）②伊丹スカイパーク（伊丹

市）茨城空港が地域に根付いていくには、航空機の安定運航・旅客の利便性向上など改善する問題が多くあるため、地方空港の活性化の取り組みの状況調査を実施した。また、茨城空港のほか、航空自衛隊基地が所在する小美玉市は、戦闘機等の飛行訓練により周辺地域に多大な騒音被害を発生させている。そこで航空機騒音の軽減と周辺地域の生活環境改善を目的



伊丹スカイパークにて

善を目的に国・県・市の共同で整備した緩衝緑地整備施策の視察研修を実施した。

◆視察日：7月11日～12日

◆委員：野村武勝、市村文男、

大和田智弘、関口輝門、小川賢治、
福島ヤヨヒ、岩本好夫、長島幸男、
谷仲和雄、幡谷好文、木村喜一、
鈴木俊一

◆視察先・内容：①環境保全バイ

オガスプラント（鹿追町）

県内有数の酪農・養鶏地域である本市は家畜糞尿による臭気などの環境改善が求められている。また、再生可能エネルギーへの期待が高まっている昨今、市内における家畜糞尿の処理場は、エネルギー回収の技術的な課題や、導入コスト・維持管理コストなどの課題により市内に分散しており、堆肥化など限定的な利用に留まっている。このため、未活用となっている家畜排せつ物処理・環境改善・雇用創出・農業生産力向上などに寄与するバイオマスのエネルギーへの高度利用や事業化に向けた可能性調査のため視察研修を実施した。



環境保全バイオガスプラントを視察（鹿追町）

エネルギーへの高度利用や事業化に向けた可能性調査のため視察研修を実施した。

一般質問

市民の声を市政に



▲ 本庁舎の1階ロビーと3階の議場前、各総合支所の1階ロビーにTVMonitorを設置しています。

◇	谷仲	和雄	(10ページ)
◇	植木	弘子	(10ページ)
◇	関口	輝門	(11ページ)
◇	木村	喜一	(11ページ)
◇	鈴木	俊一	(12ページ)
◇	石井	旭	(12ページ)
◇	戸田	見成	(13ページ)
◇	福島	ヤヨヒ	(13ページ)
◇	村田	春樹	(14ページ)
◇	長島	幸男	(14ページ)

平成29年度予算編成方針は

事業の「選択と集中」を進める

谷 仲 和 雄



Q 平成29年度予算編成について
 予算編成方針は。

A 市長 歳入において普通交付税が減額され、歳出では社会保障に係る扶助費、新市建設計画に基づく事業推進に伴う公債費等が増える見込みから、引き続き、財政調整基金からの繰入れが必要となる。

そのような中、枠配分方式の予算編成のもと、事業の選択と集中を進めることにより、市総合計画の将来像を目指す。また、経常的経費等に係る各部への財源配分に当たっては、一般財源見込額を算出した上で、一定の削減目標を盛り込み、財源配分を行うこととする。

Q 29年度の重点項目は。

A 企画財政部長 学校規模配置適正化事業・広島駅前橋上化事業・広

域幹線道路整備事業及び3市1町で進めるゴミ処理施設広域化を着実に計画年度内に進められるよう重点項目として位置付けている。



(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路整備事業起工式
 (H28年10月27日 小美玉市竹原地内)

Q 市債を発行するに当たって留意する点は。

A 企画財政部長 一般財源が減少の見込みとなる状況を踏まえ、公債負担比率の動向を注視しながらの市債発行となっていく。

女性や中高生による模擬議会の開催を

今後、検討していきたい

植 木 弘 子



Q 「子ども議会」の目的と効果、年齢の拡充若者や女性を対象とする模擬議会の開催について伺う。

A 教育部長 青少年の健全育成を図ることを目的に実施しており、市政に対し意見等を述べるといふ議会活動の一部を体験することにより、政治や行政に関心を持つことができると考えている。

A 市長公室長 女性議会の開催については、「女性サロン」や男女共同参画推進委員会で提案し協議していきたい。また、青年等の議会についても検討していきたい。

Q 「読書通帳」導入の進捗状況と、図書館利用促進事業について伺う。

A 教育部長 図書館システムの更新時に検討するということが進めてきたが、費用がかか

るため導入に至っていない。効果等の調査研究も必要と考えている。利用促進については、祝日開館や閉館時間の延長、ボランティア団体による読み聞かせや除籍本の配布、移動図書館車の運行、ブックスタート事業、市内共通図書カードの普及等に努めている。

Q 建築物の外にある堆積物放置、いわゆる「ゴミ屋敷問題」の市の対応と、今後の対策として福祉部との連携を問う。

A 市民生活部長 市への苦情相談は1件で、継続的に訪問して処理の指導を行い、道路上にはみ出した堆積物は撤去させた。今後も解決に向け粘り強く改善を促していく。また、福祉部とも連携し行為者の話をよく聞いて丁寧な指導(心のケア)の検討もしていきたい。



決算の不用額、累増の根拠とその是正策は

予算執行管理を適切に進める

関 口 輝 門

Q 財政が厳しい中で、多額の不用額が年々増加している。不用額の発生根拠とその是正策を伺う。

A 企画財政部長 予算で不足が見込まれる場合は増額、余剰が見込まれる場合は減額で補正予算編成は可能であるが、補正予算に反映できず結果不用額となるケースもある。予算執行管理を適切に進める。

A 都市建設部長 工事入札差金及び用地買収・物件移転交渉が困難で未執行により不用額を生じた。工事等の早期発注と執行額の早期確定に努める。

A 福祉部長 過年度の実績を踏まえ予算計上をしているが、人口透析の更生医療費が大半を占めており、医療機関からの請求事務の処理状況に依存しているため、当該年度の支払い分を見込むことが難しい。更生医療の指定医療機関と調整を図り、

適正な執行管理に努める。

A 保健衛生部長 予防接種の委託単価や助成金に接種人数を乗じた予算措置である。感染症の流行度合いに対応できるようになっている。昨年度は、肺炎球菌予防接種・子供のインフルエンザなどの接種が少ないことが要因。過去の実績や傾向を加味し、感染症の流行時期に対応し得る予算措置をする。

A 教育部長 竹原小学校外周道路の用地取得が年度内に適わず未執行になった。また、美野里地区の4幼稚園の耐震補強工事の入札差金が不用額となった。精度の高い予算要求を心がけるとともに、適正な予算執行管理のもと、予算補正の時期を見極める。

A 副市長 予算の有効活用の観点から、不用額を少なくすることは重要であるが、ある程度はやむを得ない。各部署・各職員が執行に当って精査努力していると認識している。

飲酒運転事故ワーストの汚名を返上するには

飲酒運転を許さない環境の整備を図る

木 村 喜 一



Q 飲酒運転撲滅活動と併せて、市内の飲食店へ安心して来てもらえるような仕組みづくりを提案するが、本市の商業振興と今後の公共交通の進むべき方向について伺う。

A 危機管理監 摘発状況を分析し、市民一人一人が飲酒運転の危険性、悪質性及び事故の悲惨さを認識する必要がある。石岡警察署、交通安全協会等と協力し、街頭キャンペーン等を実施する中で交通マナー遵守の呼びかけを行い、飲酒運転を許さない環境の整備を推進していきたい。

A 企画財政部長 提案については、今回の公共交通実施計画の料金徴収が国の許認可を受け実施しているものなので、国・県および関係機関と協議検討したい。飲食街振興と併せ、公共交通については目的、趣旨等を勘案しながら、現行のルート

や時間帯の中で利用促進策の一環として啓発を行い、今後も飲酒運転をなくす方策を検討していきたい。

Q 目まぐるしく変化する社会に対応するためには市職員の資質向上が必要と考えるが、職員研修の現状と今後の方針について伺いたい。

A 総務部長 内外での研修28種を企画し、特に今年度は、管理職級を対象としたマネジメント研修や若年から中堅層職員の能力向上を趣旨に半年の期間をかけながら政策形成実践研究を実施し職員研修の充実に取り組んでいる。また、人材育成については日常業務から培われる経験などが相乗しながら徐々に形成されていくと考えており、各種の行政課題に柔軟に対処できる職員の育成に今後も注力していきたい。

財政調整基金の見通しは

枯渇しないよう 自主財源の確保と行政コストを縮減

鈴木 俊一



Q 市職員採用はどのような選考方法、選考基準で行っているのか。また、臨時職員はどのような定義づけで雇用しているのか。

A 総務部長 1次試験は教養試験と論文、そして適性検査とグループ討議、2次は各種試験の結果を総合して判断している。特に市職員としての適性を重視しながら、有益な人材確保に努めている。

臨時職員は、正規雇用と同様に地方公務員法の規定が適用される期限付きの任用職員で、各所管の効率的な業務処理を踏まえた任用計画により、人事・財政の両面で判断し雇用している。

Q ①市の貯金とも言うべき財政調整基金の今後の見通しは。②予算書、決算書は新公会計制度で見える化を促進させてはどうか。今後、

無償で貸与したものの(家賃収入等)を0円で表記することは可能か。

A 企画財政部長 ①平成27年度末で財政調整基金残高は約32億円となっている。28年度は8億8300万円繰入れされており、今後も繰入額が増え、戻せないと、数年で基金の枯渇が予想される。対策としては、歳入面では人口増加や企業誘致策等を進め、市税等の自主財源の確保、歳出面では行政コストの縮減等の歳出削減策を図る。②現金主義による会計制度のため難しい。

Q 美野里地域食材供給施設(キャトル・セゾン)は、本市の先進事例といえるが、何を指しているのか。また、誰のための施設か。

A 産業経済部長 多くの市民に喜ばれる施設となるよう望む。

第2次総合計画策定の進捗状況は

希望の持てる実行性の高い施策を検討している

石井 旭



Q 小美玉市第2次総合計画策定に向けた進捗状況と、どのような重点施策を考えているのか伺う。

A 市長 平成30年3月末で現行の総合計画が終了することに伴い、今年度より第2次総合計画に着手している。12月27日開催予定の第1回総合計画審議会で報告するため、市民アンケートや市職員の意識調査、並びに後期基本計画に係る施策達成度調査を行い、調査結果等を分析しまとめているところ。

重点施策については、現行計画の達成状況や国、県の動向、そして市の将来像を見据えて実効性の高い施策を検討し、希望のもてる明るい将来を見据えて、総合戦略でも示したダイヤモンドシテイを目指せる総合計画を策定したいと考えている。
○ つくばエクスプレスの茨城空港への延伸を、ぜひ第2次総合計画に盛り込んでいただきたい。

Q 平成29年度予算編成において、防衛省関連事業の予算状況はどのようになっているか伺う。

A 企画財政部長 民生安定施設整備事業及び防音施設周辺防音事業については、防災無線放送施設整備事業や水道施設更新事業の継続事業のほか、玉里総合支所改修事業や小川・橘統合小学校整備事業等の新規事業について概算要求をしている。今後も消防施設整備事業や既存施設改修事業及び学校建設事業について活用していきたい。特定防衛施設周辺整備調整交付金については、同額程度の交付を見込んでおり、周辺道路整備事業へ充当していく。再編交付金については、平成29年3月末に交付が終了することから、来年度以降の交付金延長に向け引き続き努力していきたい。



実行性の高い第2次総合計画の策定を

現計画の検証と分析を十分に行い進める

戸田 見成



栗又四ヶ線工事の現場

Q ①スマートICと空港連結道路周辺計画の進捗状況は。②栗又四ヶ(5329号)線の進捗状況と今後の見通しは。

A 都市建設部長 ①現在約5割の用地買取を行い、10月末に起工式を開催したところ。県と連携し早期完成を目指している。周辺計画についても5月に政策調整会議を立ち上げ協議している。具体的な提案をしていきたい。②28年度は栗又四ヶ地内の地盤改良工事110メートル区間が11月に完了し、現在、石岡市小井戸地内の道路改良

工事を実施している。引き続き用地交渉を進めるが、全面開通までには4、5年は要する見込みとなっている。

Q 総合計画は、国が各自治体に対して計画行政の必要性を指導してきた大切な施策である。現在本市では第2次総合計画が策定されていると思うが、必ず実行される計画を策定していただきたいが如何か。

A 企画財政部長 現行の総合計画の施策の検証と分析を十分に行い、第2次総合計画に継承する施策や実行性の高い施策を市民や関係団体に伺いながら策定を進めていきたい。

【そのほかの質問】 ○それらの運営状況について ○茨城県定住圏協定について ○東京オリンピックと茨城国体の取り組みについて ○教育基本計画について ○(緊急質問)鳥インフルエンザについて

住民に耳を傾けた広域ごみ処理場を

意見を真摯に受け止め事業に当たる

福島 ヤヨヒ



Q 高齢者の交通事故が多発しているが、被害者にも加害者にもならないための対策は。

A 危機管理監 啓発活動のほか、自転車競技大会等の講習会への参加、いきいきドライバースミナーや交通安全総決起大会などを通じ、事故防止活動を推進していく。タクシー券の外出支援サービスの利用など、交通弱者の対策をしっかりと検討する。

Q 休日等における子どもの居場所づくりとして、児童館に匹敵するような施設はあるのか。児童公園と呼べる公園の使い方はどうなっているか。

A 教育長 公民館等の生涯学習施設のロビーは、学習・談話など自由に使える。小川公民館では、夏休み期間は会議室を開放している。また、希望ヶ丘公園や玉里運動

公園では、園路や子ども広場を開放しているのでご利用いただきたい。

Q ごみの資源化・減量化と新ごみ処理場建設について改めて伺うが、市としての取り組み、今後の在り方をどう考えているか。

A 市民生活部長 ごみ減量化、資源化はより一層の啓発に努め、生ごみ対策も実行していきたい。新施設に対しては市は約24%の負担になるが、循環型社会推進交付金、震災復興特別交付税を活用していく。

敷地の関係で白雲荘は解体するが、他の施設を利用していただきたい。交通手段も団体には送迎バスの利用も可能となるので、住民と話し合いながら進めていきたい。

A 市長 茨城美野里環境組合が一番古く、その対応のためにしっかりと話し合いを進めていくのでご理解いただきたい。

※スクエアステップとは？・・・高齢者の転倒予防、認知機能向上をはじめ、成人の生活習慣病予防などに効果のあるステップマットを使ったエクササイズ。

市内に雇用の場を生み出す企業誘致を

活動を強化し誘致できるよう努める

村田 春樹



Q 羽鳥駅橋上化、羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況は。

A 都市建設部長 10月4日付けで都市計画決定、変更告示を行い、手続きが完了している。

現在は、橋上駅舎及び東西自由通路と東西駅前広場の工事が来年度から着手できるよう、本年度中の実施設計完了を目指し、作業を進めている。

Q 石岡小美玉スマートICと空港を結ぶアクセス道路に企業を誘致することは難しいのか。

A 産業経済部長 市議会の地方創生まちづくり特別委員会から、企業誘致や複合施設の設置等が提言され、政策調整会議において、誘致に必要な税制上の優遇拡充や新たな制度の整備に向け協議をしているところ。
アクセス道路沿線は個人所有地であり課題もあ

るが、スマートインター付近や茨城空港北インター周辺でも流通系の企業からの問い合わせが来ているので、早く誘致できるように努めていきたい。

Q 女性が現在よりも活躍の場を広げられるような企業誘致はできないものだろうか。

A 市長 人口流出を食い止めるかぎは雇用の創出なので、総合計画及び小美玉まち・ひと・しごと創生総合戦略、ダイヤモンドシテイプロジェクトの重要な事業として位置づけ、女性が活躍できるような企業誘致活動を強化していきたい。



学校トイレの洋式化等、教育環境の向上を

整備手法等を工夫しながら着実に取り組む

長島 幸男



Q 高齢化が益々進む中、健康寿命を延ばすことが財政面の軽減につながるかと考えるが、本市の健康づくり等の諸施策は。

A 福祉部長 平成27年度に策定した「おみたま健康いきいきプラン」に基づき、生涯にわたる主体的な健康づくり活動や食育活動を実施できるような事業を展開している。



スクエアステップで健康づくり
「ゆうあいサロンかたくら」

Q 高齢化が益々進む中、健康寿命を延ばすことが財政面の軽減につながるかと考えるが、本市の健康づくり等の諸施策は。

A 副市長 市内小学校の洋便器率は44.1%、中学校は34.1%で、合わせた洋便器率は40.8%となっている。

Q 文部科学省の調査では公立小学校の洋便

器の割合は43.3%にとどまる。本市の公立中学校の洋式トイレの整備状況はどうか。
これまでは児童・生徒の安全を守るため、最優先で施設の耐震化を進めてきた。さらに今年度は各小学校への空調設備等の設置もできたので、今後は十分でなかったトイレの洋式化を優先的に図っていききたい。具体的には、小川及び玉里地区については学校の適正化計画に合わせ図っていく。また、美野里地区については大規模改修等に併せ進めていきたいと考えている。
財源確保や整備手法等を工夫しながら着実に進めていきたい。

第42回プレゼントクイズ

*答えは議会広報第44号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、「キャトル・セゾン」(四季の里内)のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- 問① 12月定例会で一般質問を行った議員は〇〇名？
 問② 新たに設置されたのは「〇〇〇〇対策特別委員会」？
 問③ 表紙の写真は「第10回小美玉市〇〇〇議会」？

◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。
 また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

◇応募〆切

平成29年2月24日(金)まで *当日消印有効

◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛
 FAX: 0299-48-1199 Eメール: gikai@city.omitama.lg.jp
 ☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

第41回クイズの当選者

23通のご応募をいただきました。
 当選者は以下の方々です。

飯村 貞夫さん	福留 慶子さん
森江 富美枝さん	伊藤 妙子さん
普入 一男さん	長島 あつ子さん
郡司 克征さん	笹島 憲一さん
郷内 武さん	山田 悠佳さん

第41回クイズの正解

- 問① 小美玉市指定の花は？ [答 → コスモス]
 問② 第3回の一般質問者数は？ [答 → 11人]
 問③ 〇〇〇番は「いばらき消防指令センター」に通
 じる？ [答 → 119番]

皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 久しぶりに子供を連れて茨城空港に遊びに行き行って来ました。滑走路を見渡せる視界が良くなっていて飛行機の飛び立つ姿が良く見えて良かったです！(中台・女性)
- ▶ 表紙の四季花、気持ちがとてもいやされます。次号楽しみです。2年生議員様、活躍期待しています。(高崎・女性)
- ▶ 茨城空港、関東のLCC利用者の間では大変好評です。おそらく近隣の皆さんよりも利便性を感じているのではないかと思います。頑張ってPRしていただけたらと思います。(羽鳥・男性)
- ▶ 一般質問の内容により、行政や生活面等の問題提起やその対策がよく理解できる。今後も継続して市民の声を市政に大いに反映させ、市民の負託に応えていただきたいです。(中延・男性)
- ▶ 小美玉市医療センターの近況について紹介します。常駐の医師、スタッフが増加。折居院長の指導のもと、ソーシャルワーカー等が老若男女問わずの接し方は抜群です。市として更にバックUP体制を要望します。(幡谷・女性)
- ▶ いつも小美玉市議会だよりを楽しみに読ませていただいています。市内循環バスが来年1月から日曜の運行を予定しているとのことで、私も嬉しく思っています。(竹原・女性)
- ▶ 43号の湖畔のコスモスの風景とても素敵です。羽鳥駅の橋上化を楽しみにしています。(羽鳥・女性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

■ 議長通信 ■

- 11月9日：第101回 全国市議会議長会評議員会 地方行政委員会の活動状況を報告しました。
- 11月15日：第13回国と地方の協議の場等に関する特別委員会 国と地方の協議の場の動向等の報告を受けるとともに、今後の対応方針等について協議しました。
- 11月16日：第130回国会対策委員会 地方創生の推進、地方税財源の充実確保、平成28年熊本地震からの復旧・復興、東日本大震災からの復旧・復興及び地方議会議員の厚生年金への加入に関する要望書並びに要望活動等について協議し、いずれも原案のとおり決定しました。
会議終了後、地方行政委員会正副委員長、地方財政委員会正副委員長、国会対策委員会正副委員長及び同委員会委員とともに菅 義偉 内閣官房長官、高市早苗 総務大臣、松本 純 内閣府特命担当大臣（防災）、宮沢洋一 自由民主党税制調査会長と面談し、国会対策委員会で決定した要望書の各事項について善処を要請しました。



▲ 11月16日、菅 義偉 内閣官房長官に要望（首相官邸にて）

- 11月17日：地方行政委員会正副委員長会議 要望書（案）及び第145回地方行政委員会の運営等について協議しました。
- 11月17日：第145回 全国市議会議長会地方行政委員会 第101回評議員会議決事項のうち本委員会に付託された5件の議決事項及び地方行政をめぐる諸情勢等を勘案して作成した14項目からなる地方行政関連施策についての要望書、平成28年熊本地震



発行編集責任者 議長 市村 文男
 広報特別委員会 委員長 大槻 良明
 副委員長 谷仲 和雄
 委員 小川 賢治
 幡谷 好文
 石井 旭
 植木 弘子
 村田 春樹

に関する要望書及び東日本大震災に関する要望書を原案のとおり決定するとともに、決定した要望事項の実現に向け、正副委員長及び各委員の地元選出国會議員等に対して要望活動を行うこととしました。

会議終了後、吉村副委員長（北海道伊達市議会議長）及び房安副委員長（鳥取市議会議長）とともに、金子万寿夫 自由民主党総務部会地方議員年金検討PT座長、山本博司 公明党総務部会長並びに総務省の安田 充 自治行政局長及び宮地毅 大臣官房審議官と面談し、要望事項の善処について要請しました。



▲ 第145回 地方行政委員会にて挨拶をする 市村文男委員長

■ 次の定例会は、3月2日（木）開会予定です！

定例会程 日	会議等の主な内容	傍聴	
		可否	モニター 中継
3月2日 (木)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
8日 (水)	本会議（～10日） (一般質問、議案質疑)	可	有
13・14日 (月・火)	予算特別委員会	要確認	無
15日 (水)	常任委員会（～17日）	要確認	無
22日 (水)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

編集後記
 燦たる日の出とともに、2017年がスタートしました。明けましておめでとうございます。
 昨年の暮れには、恒例の「子ども議会」が開催されました。
 子どもの目線で見ると小美玉市は、どんなふう映っているのか。次代を担う子どもの意見は、小美玉市の未来に繋がります。市民の声として、真摯に受け止めていただき、同時に、小美玉市の発展のため、議員としての使命と決意を新たにすることができました。
 広報委員会も開かれた議会を目指し、分かりやすく読みやすい、紙面の充実に一層努めてまいります。
 この一年どうぞよろしくお願います。
 (植木弘子)